

〈体育科〉第5学年 単元名 「けがの防止」

【目指す児童像に迫る手立て】

〈やりたい〉「主体的な学び」を目的とした手だて

- 資料の工夫
- ICTの活用

〈みんなと〉「対話的な学び」を目的とした手だて

- 学習過程の工夫（1単位時間の流れの確立）

〈よし！できた！〉「深い学び」を目的とした手だて

- 得た知識を活用する場面の設定

【1単位時間の流れ】

課題把握（つかむ）

知識を得る・深める
（考える・話し合う）

振り返る・生かす

【授業風景】



昨年度、4年生の時にどんなけがをしたことがありますか。



校庭でおにごっこをしていた時に転んでしまったんだ。



これらのけがの共通点は何でしょう。



図工室で使う道具はけがをしそうだよね。
気を付けて使いたいね。

【児童の変容 授業前】

・日常的に様々な種類のけがをした経験があり、けがの原因は、「転倒」や「運動中」など、行動を中心に考える児童がほとんどであった。
・けがをしないように気を付けていることは「交通ルールを守る」「道具は気を付けて使う」など、自分の行動だけに気を付けようとする児童が多かった。

【児童の変容 授業後】

・単元終了時には、けがを防ぐための方法として、「周りを見て動く」「危険なものがないか確認する」など環境にも注意する児童が多くなった。
・「廊下や階段は焦らずに歩く」「急いでいても歩く」など、心の状態にも目を向ける児童が増えた。けがの防止に向けて「行動」「環境」「心の状態」3つの観点を実生活に生かそうとする姿が見られるようになった。